

本反省会議事録は、大津ジャズフェスティバル実行委員会の実行委員の当日運営の現場の声と出演ミュージシャンの皆様にご後日、アンケートをお願いした集計結果に基づいて検討されたものです。

大津ジャズフェスティバル実行委員会

第2回大津ジャズフェスティバル反省会議事録／2010.11.28

<開催概要>

日時：

会場数：

来場者数：

出演ミュージシャン：

(1) 開催の枠組みについて

①開催日・時間

- 大津祭の次週という設定は良かった。大津祭などでOJFの告知（ビラ撒き）が効率的にできた。
- これ以上後にすると寒くなる。

②会場数・種類・配置

○全般的に

- 前回と比べて会場がまとまっていて回りやすかった。
- 何とか歩いて回れるという意味では妥当だったのではないか。
- 土日の会場を分けて（土曜日：街中心、日曜日：浜中心）良かった。
- 土曜日は来場者に街歩きしてもらえたのではないか。
- 土曜日に来場者から「日曜日でも商店街のアーケードでやったらいいのに」という声があった。
→日曜日の商店街は休業するため、今回は日曜日の商店街会場で実施しなかった。
- 中規模会場（ドラムが使用できる会場）が少なく、参加ミュージシャンには厳しかった。

○会場別

- 興禅寺会場は今ひとつ集客できなかった。
→入口が狭く、会場が奥まっていたので入りづらかったためか。
- 大津港会場は集客が悪かった。
→会場のポジショニングに検討が必要。おまつり広場と大津港を繋ぐように会場が設営できれば理想的。
- ガス燈広場は、フリーマーケットが終了したあとの集客が悪かった。
→接近している京阪浜大津駅前の音がうるさかった。浜大津駅前の演奏が小規模ならば邪魔にならないが、ガス燈広場を会場にすること自体を検討した方が良いのでは。
→フリーマーケットとの連携が充分はかれていなかった。
- JR大津駅は会場として機能していたか？
→電車利用で大津に来たミュージシャンは大津駅を利用していた様子で、乗降客数も普段より1000人単位で多かった。他県からの集客を考えると大津駅を会場にしておくことは有効ではないか。

○動線

- 大津駅から商店街のアーケードに誘導していたが、間の会場が興禅寺しかなく流れが作りにくか

った。

→大津駅前商店街も巻き込めたら良かった。

- 大津駅からおまつり広場や公会堂が遠い。
 - 中央大通りを通して移動してもらえるような仕掛けを作る必要
 - 動線からみて商店街を入れる必要はあるか？会場設定の際には来場者目線という視点も必要では？
- 日曜日は、JR大津駅から京阪浜大津まで何も会場がなかった（カンキビル前インフォメーションのみ）。
- 飲食店や休憩所が少なかった。
 - 次回に向けて、駅前や会場付近の店舗に今回の報告書を持参し、働きかけをしてみてもは。
 - 今後、商店街か中央大通りのどちらをメインにするかをきちんと考えておくべきでは。
 - 今まで「地域の活性化を」と声がかかっては成果が得られなかった経緯があり、商店街の人を巻き込んでいくにはまだまだ時間がかかりそう。

③参加費（鑑賞料）

- 飲食店会場については、今回は来客から注文がない限りオーダーを取らないようにということにしていた。
 - オーダーを強制しないことが基本で、声かけをすることはかまわない。趣旨の徹底がうまくできなかったため、基本的な姿勢と共有方法を再度検討する必要がある。

(2) 準備：分野ごとの取り組みについて

①音楽・会場

○会場選定・運営

- 商店街、小規模会場で、ドラムが使えないところが多かった。
- 会場利用についての調整が難しかった。特に公的施設が難しかった

○ミュージシャン募集

- ミュージシャン募集の取りまとめも大変だった。
- 参加協力金については、今回は一律2,000円/1枠としたが、会場規模ごとに料金を分けて設定したほうが良かったかもしれない。ビッグバンドからは一人いくらという徴収方法の提案がありました。
- 演奏ジャンルを会場ごとで分けた方が、ミュージシャン応募時の混乱が少ないかも。
- ミュージシャンは申し込み順ではなく、選考してもよかったのでは？
- プロステージについては今回たまたま出演料がかからなかったが、今後は必要かも。
- 出演ミュージシャンにはOJF終了後もコンタクトを取っている。

○P A

- 「アークスで演奏できて良かった」という声があった。サクスの演奏はNGだったが、P Aが良かったので、ミュージシャンの満足度が高かった。
- P Aオペレーターがいなかった会場は大変だった。駒井さんがP Aの確認に各会場を巡回して下さったので良かった。
 - 今後はP A専門学校の生徒さんなどに協力要請するなどを検討する必要あり。

○機材調達・管理

- 機材の付属品の紛失が少なかった。
- 機材倉庫・配送拠点として、今回のタマヤさんのような場所が必要。

○駐車場

- ミュージシャン用の駐車場が、場所によってはほとんど使われないところもあった。
- おまつり広場の駐車スペースの管理は統率が取れなかった。他の駐車場とは別物として管理体制を考えておく必要があった。おまつり広場全体の指揮系統の乱れもあった。

○イベント

- 旧大津公会堂は効果があった。
- 百町市は出演ミュージシャンのブッキングも難航し、運営が厳しかった。
- イベント自体はOJFの知名度アップを図るために重要なこと。定禅寺は東京でもイベントをしている。
→ 今後はある程度計画的に実施したい（同じ日にイベントが重なることは極力避けたい）。

○全般

- ミュージシャン向けのアンケートは回収率は低かったものの、概ね良い評価を頂いた。
→ 来場者向けアンケート（演奏についてなどを尋ねるもの）も実施してはどうか？
- 作業が特定の人に集中した。次回から数人で分担できるところはあるが、ミュージシャンからの問い合わせの回答は窓口を1つにしていないと混乱を生じてしまう。

② IT・制作

○ポスター

- B1サイズは当日会場などに掲示する分には目立って良かった。用途を考えてサイズ違いの物を作ったほうが良いかもしれない。

○バッジ

- 缶バッジは人を繋ぐ媒介になった。チップを渡したという目印にもなり、有効なアイテムだった。

○プログラム・フライヤー

- 掲載されていたマップが見にくかった。会場以外の見所もマップに入れて欲しかった。
- フライヤーにも地図が入っていたら良かった。
- バンドの出演スケジュールのページに、そのバンドの構成が書いてあるのが見やすかった。
→ 楽器の記載方法などについて、解説や用語説明が載っているとさらに親切。
- プログラムは完成度が高かった。

○のぼり

- 数が少なかった。

○プレミアムTシャツ

- 黒いTシャツは評判が良かったが、値段が高すぎたか？

○ホームページ

- アクセス数が今ひとつ伸びなかった。
→ 協賛広告主のページと相互リンクを貼るなどの対応が必要か？

③営業

○営業活動

- 営業活動が特定の人に負担がかかっていた。
- 営業の手順を決めたが、あまり機能していなかった。
- 情報が錯綜し、はじめは「他の人が回っているかもしれない」と思って営業活動を控えていたこともあり、スタートダッシュが遅れた。

- 営業をエリアごとでチーム分けして活動しては？
- 地元企業や商店だけではなく、地域活動に貢献している企業（今回はカネカが協賛広告をくれた）や音楽関連のイベントに力を入れているところなど営業をかけて行く場所はまだまだある。
- 会計担当との役割分担が不明瞭で会計処理が混乱した。

○広告

- 広告費や友の会会費の設定は適正だったか？
→プログラム制作費の収支が黒字だったことやパンフレットのページ割が上手くいったことなどからすると今回については結果オーライだった。
- プログラム原稿を締め切ってからパンフレットのページ割をしたことで、パンフレットのレイアウト担当者の負担が大きかった。
- パンフレットだけが広告媒体ではない。
→ホームページ上に名前を載せるとかというのもありでは？

④広報・企画

○イベント

- 計画的なイベントの企画立案が必要。公会堂は半年前から会場予約となるし、できれば1年分（最低でも3ヶ月前）に計画しておく必要がある。今後は他チームとの連携も密にしていきたい。
- イベントは予定していたところについてはきちんと実施できたが、琵琶湖ホテルやパルコなどとのコラボイベントも企画できたのではないかな？

○広報

- プレスリリースについても、OJF当日のことだけではなく、イベントの告知を重ねることでOJFの認知度がアップできるものと思うので、随時発信していきたい。
- チラシ配布が（チラシの残枚数が少なかったこともあり）大津市内しかまともにはできなかった。
- 京阪電車とはJAZZ電車のこともあり協力関係が築けたが、JRにももっとプッシュできたのではないかな？
- 新聞には掲載してもらえたが、電波系（テレビ・ラジオ）へのプレスリリースが弱かった。ホームページバナーの掲載の依頼も有効ではないかな？
- 広報はOJF内部で何が起きているのかを外部に発信するのも大事な役割。定期的な取り組みとして1～2ヶ月に1回程度ニュースペーパーを発行するなどしては？

⑤総務・会計

○会計

- 第1回収支整理・分析第1回終了段階ですべきことが遅れた。総括はすぐにすべき。
- 途中段階での収支予測・出納管理各チームでの予算管理意識と報告が重要。

○定例会議運営

- 会議日程の決定が遅く会場の確保に影響も。年間計画を決めればどうか。
- 会議資料には、各チームの情報を反映、統合するのが難しい。
- 市民活動センターの機械の不具合あり。使えなかった時のことを考えておいても良いかも！？
- 会議記録の作成は、2～3人で持ち回りにできたら理想。

○データ文書管理

○友の会・ボランティア募集・管理

- ボランティア説明会に出向くことは、関係づくりで有効だった。イベント当日だけの関係だけでなく、各団体との日常の関係づくりが大事で、日常から参加してもらう機会づくりが必要。
- ボランティア登録カード内容や配布時期について検討が必要。

○当日運営・管理

- 運営マニュアルは、もっと早くつくり周知したいが、すべての内容が確定しないと完成しないので難しい。

<総評>

発足当時からのコンセプトである「中心市街地に元気を」を踏襲し、今回キャッチコピーにした「ジャズと一緒に街歩き」というテーマは商店街をストリート会場にしたことで大きな一歩を踏み出した手応えを得た。今後も長期的に継続することに。

また、第1回の機材配送ミスなどの経験を踏まえ、周到に準備した結果、今回は大きなトラブルはなかった。しかし、約1週間前からの準備作業に一部のスタッフの負担が大きくなった事が次回の課題である。